

レジメン番号： 08-001 / 膵・胆道1

適応疾患： 膵癌・胆道癌

レジメン名： ゲムシタビン(3投1休)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-002 / 膵・胆道2

適応疾患： 膵癌・胆道癌

レジメン名： ゲムシタビン(2投1休)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-003 / 膵・胆道3
 適応疾患： 膵癌・胆道癌
 レジメン名： ゲムシタビン(隔週)

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-004 / 膵・胆道4

適応疾患：膵癌・胆道癌

レジメン名：ゲムシタビン+エスワンタイホウ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
	エスワンタイホウ ※2 経口 1日2回朝・夕食後に分けて内服	80 mg/m ² /日	day1夕～day15朝			

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※2 エスワンタイホウ投与量は体表面積に応じて以下に従う。

1.25 m²未満 :80 mg/日

1.25 m²以上1.5 m²未満 :100 mg/日

1.5 m²以上 :120 mg/日

本剤投与中止後、他のフツ化ピリミジン系薬の投与を行う場合は7日以上の間隔をあけること。

レジメン番号： 08-007 / 膵・胆道7

適応疾患：胆道癌

レジメン名：ゲムシタピン+シスプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	硫酸Mg注(20mEq/20mL) 生食(1000) 点滴静注(メイン) 180分	1 A ※1 1 B	↑	↑	×	
2	マンニトール(300) 点滴静注(サブ) 45分	1 B メインと同時に開始	↑	↑	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(サブ) 15分	2 V 1 B	↑	↑	×	
4	シスプラチン 生食(500) 点滴静注(サブ) 60分	25 mg/m ² ※2 1 B	↑	↑	×	
5	ゲムシタピン 生食(100) 点滴静注(サブ) 30分	※3 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
6	生食(50) 点滴静注(サブ) 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 ハイドレーションは原則1L行う。

※2 Total 500 mLに調製する。

※3 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-010 / 膵・胆道10

適応疾患： 膵癌

レジメン名： ゲムシタビン+タルセバ

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	
	タルセバ 経口 1日1回空腹時に内服	100 mg/body	day1~28				

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-013 / 膵・胆道13

適応疾患：膵癌

レジメン名：FOLFIRINOX

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(メイン) 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	
2	オキサリプラチン 5%ブドウ糖(250) 点滴静注(メイン) 120分	85 mg/m ² 1 B	↑	×	
3	レボホリナート 5%ブドウ糖(250) 点滴静注(メイン) 120分	200 mg/m ² 1 B	↑	×	
4	イリノテカン ※1 ソルデム1(200) 点滴静注(サブ) 90分	180 mg/m ² 1 B	↑	×	
レボホリナート開始30分後から同時に開始					
5	フルオロウラシル 生食(50) 点滴静注(メイン) 10分	400 mg/m ² 1 B	↑	×	
全開で投与可					
6	フルオロウラシル ※2 5%ブドウ糖(100) 点滴静注(メイン) 46時間	2400 mg/m ² 1 B	↑	×	
7	ヘパフラッシュ 静注	1 A	↑	×	
ポートフラッシュ用					
	デカドロン錠(0.5) 経口	16 T	day2~4		
1日2回朝・昼食後に分けて内服					

※1 イリノテカンによるコリン様症状に対しては、前投薬としてアトロピン注0.05%シリンジ1Aの投与を考慮する。

※2 フルオロウラシルの投与量に応じて、総液量を以下のように設定する(トレフューザー使用)。

3500 mg未満: 130 mL、3500 mg以上: 125 mL

レジメン番号： 08-014 / 膵・胆道14

適応疾患： 膵癌

レジメン名： ゲムシタビン+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	
3	アブラキサン ※1 生食(50) 点滴静注 30分	125 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	
5	ゲムシタビン ※2 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 インラインフィルター使用不可。

※2 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。

血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号 : 08-018 / 膵・胆道18
 適応疾患 : 膵癌
 レジメン名 : mFOLFIRINOX

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(メイン) 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	
2	オキサリプラチン 5%ブドウ糖(250) 点滴静注(メイン) 120分	85 mg/m ² 1 B	↑	×	
3	レボホリナート 5%ブドウ糖(250) 点滴静注(メイン) 120分	200 mg/m ² 1 B	↑	×	
4	イリノテカン ※1 ソルデム1(200) 点滴静注(サブ) 90分	150 mg/m ² 1 B	↑	×	
5	フルオロウラシル ※2 5%ブドウ糖(100) 点滴静注(メイン) 46時間	2400 mg/m ² 1 B	↑	×	
6	ヘパフラッシュ 静注 ポートフラッシュ用	1 A	↑	×	
	デカドロン錠(0.5) 経口 1日2回朝・昼食後に分けて内服	16 T			day2~4

※1 イリノテカンによるコリン様症状に対しては、前投薬としてアトロピン注0.05%シリンジ1Aの投与を考慮する。

※2 フルオロウラシルの投与量に応じて、総液量を以下のように設定する(トレフューザー使用)。

3500 mg未満: 130 mL、3500 mg以上: 125 mL

レジメン番号： 08- 025 / 膝・胆道25
 適応疾患： 胆道癌
 レジメン名： GCS療法

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	硫酸Mg注(20mEq/20mL) 生食(1000) ※1 点滴静注(メイン) 3時間	1 A 1 B	↑	×	
2	マンニトール(300) 点滴静注(サブ) 45分 メインと同時に開始	1 B	↑	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(サブ) 15分	2 V 1 B	↑	×	
4	シスプラチン 生食(500) ※2 点滴静注(サブ) 60分	25 mg/m ² 1 B	↑	×	
5	ゲムシタビン ※3 生食(100) 点滴静注(サブ) 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	×	
6	生食(50) 点滴静注(サブ) 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	
	エスワンタイホウ ※4 経口 1日2回朝・夕食後に分けて内服	80 mg/m ² /日	day1~7		

※1 ハイドレーションは原則1L行う。

※2 Total 500 mLに調製する。

※3 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※4 エスワンタイホウ投与量は体表面積に応じて以下に従う。

1.25 m²未満 :80 mg/日

1.25 m²以上1.5 m²未満:100 mg/日

1.5 m²以上:120 mg/日

レジメン番号： 08- 027 / 膵・胆道27

適応疾患： 膵癌

レジメン名： オニバイド+フルオロウラシル+レボホリナート

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	
2	オニバイド ※1 5%ブドウ糖(500) 点滴静注 90分	70 mg/m ² 1 B	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開	1 B	↑	×	
4	レボホリナート 5%ブドウ糖(250) 点滴静注 120分	200 mg/m ² 1 B	↑	×	
5	フルオロウラシル ※2 5%ブドウ糖(100) 点滴静注 46時間	2400 mg/m ² 1 B	↑	×	
6	ヘパフラッシュ 静注 ポートフラッシュ用	1 A	↑	×	

※1 UGT1A1*6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者、又はUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者では、1回50 mg/m²を開始用量とする。

忍容性に応じて、70 mg/m²に増量可能。

インラインフィルター使用不可。

※2 フルオロウラシルの投与量に応じて、総液量を以下のように設定する(トレフューザー使用)。

3500 mg未満: 130 mL、3500 mg以上: 125 mL

レジメン番号： 08-033 / 膵・胆道33

適応疾患：胆道癌

レジメン名：ゲムシタビン+シスプラチン+イミフィンジ

化学療法内容【1～8コース目】

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	イミフィンジ 生食(250) 点滴静注 60分	※1 1500 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	硫酸Mg注(20mEq/20mL) 生食(1000) 点滴静注(メイン) 180分	1 A ※2 1 B	↑	↑	×	
4	マンニトール(300) 点滴静注(サブ) 45分	1 B 硫酸Mgと同時に開始	↑	↑	×	
5	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(サブ) 15分	2 V 1 B	↑	↑	×	
6	シスプラチン 生食(500) 点滴静注(サブ) 60分	※3 25 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
7	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注(サブ) 30分	※4 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
8	生食(50) 点滴静注(サブ) 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

化学療法内容【9コース目以降】

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	イミフィンジ 生食(250) 点滴静注 60分	※1 1500 mg/body 1 B	↑	×	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	

※1 体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする。

投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 ハイドレーションは原則1L行う。

※3 Total 500 mLに調製する。

※4 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 08-040 / 膵・胆道40

適応疾患： 治癒切除不能な胆道癌

レジメン名： ゲムシタビン+シスプラチン+キイトルーダ

化学療法内容【1～8コース目】

(1コース 3 週間)※1

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1, 2 200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	硫酸Mg注(20mEq/20mL) 生食(1000) 点滴静注(メイン) 180分	1 A ※3 1 B	↑	↑	×	
4	マンニトール(300) 点滴静注(サブ) 45分	1 B 硫酸Mgと同時に開始	↑	↑	×	
5	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注(サブ) 15分	2 V 1 B	↑	↑	×	
6	シスプラチン 生食(500) 点滴静注(サブ) 60分	25 mg/m ² ※4 1 B	↑	↑	×	
7	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注(サブ) 30分	※5 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
8	生食(50) 点滴静注(サブ) 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

化学療法内容【9コース目以降】

(1コース 3 週間)※1

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1, 2 200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注(サブ) 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
3	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注(サブ) 30分	※5 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注(サブ) 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 キイトルーダのみ6週毎の投与も可能。6週毎とする際はキイトルーダ 400 mg/bodyとすること。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。

※3 ハイドレーションは原則1L行う。

※4 Total 500 mLに調製する。

※5 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。